

同窓会 泉陽会のみなさまへ

堺府立高等女学校46期生の樋口（旧浜）貞子と申します
このたび舞踊歴70周年記念の会を開催致しますので是非
おはこびを御願ひしたいと存じます

昭和32年に若柳流一級師範免状（芸名若柳^{ヒデ}秀）を取得
以来舞踊一筋に歩み続け 孤高の道をゆく姿勢は人生の後輩
への指針となり 高齢化社会の生き方への提唱になっている
と思っております

コロナ禍も文化芸術の灯りを絶やす事なく乗り越えて
喜びもひとしおでございます

命ある限り歩み続けてまいる覚悟でございますので 是非
未踏の道をゆく姿をお励まし頂けましたら光栄に存じます
どうぞ宜しくお願い申し上げます

日 時 令和6年10月6日（日） 午後1時半開演

会 場 国立文楽劇場（06-6212-2531）

後援予定 大阪府 大東市 大東市文化協会

出 演 者 会主若柳秀は三度目となる

「京鹿子娘道成寺（道行より鐘入まで）」を上演
他 邦楽生演奏による古典舞踊 全14番

◎招待券を御用意致します

連絡先 072 (876) 2776 (樋口貞子)

昭和32年に若柳流一級師範免状を取得、以来地元大東市を中心に多くの門下生を育て活動してまいりました。

昭和40年に第一回古典舞踊「秀の会」を開催し今もなお舞踊を紹介し続けております。地域社会に於いて四条畷神社春季大祭への舞踊奉納、市民まつり、緑化まつりへの参加、盆踊りの講習、幼稚園保育園養護施設等の指導者への講習、婦人会、老人会での指導など踊ることの楽しさ、人を通して学ぶことの大切さを伝え、生きがいと健康に繋がるよう貢献してまいりました。

また昭和62年大東市立総合文化センター開館記念大ホールこけら落としでの「雛鶴三番叟」上演をはじめとして文化祭など各種文化行事に参加し文化振興向上にも寄与してまいりました。

舞踊家としては流儀主催の国内、海外公演への参加、各新聞社主催の流派競演会への出演等で腕を磨き、古典舞踊から新舞踊まで舞台上で表現する事にひたすら精進してまいりました。

舞踊を通じて忍耐強く困難を乗り越える根気のある姿勢が、人生の後輩への指針となり高齢化社会における生き方への提唱になっていることと思っております。

60周年をおえ、年齢を重ね尚孤高の道を進む中、社会は未曾有の困難にも見舞われました。悩み、迷い、コロナ禍でも挫けずに文化芸術の灯りが途絶えることの無いよう、感染対策を徹底し「秀の会」開催を続けて無事70周年の節目を迎えますことに喜びもひとしおでございます。

踊ることは天命とこののちも命ある限り歩み続けてまいる覚悟でございます。

半世紀を超えて舞踊一筋に歩んでまいりました事をお褒め下さり未踏のみちをゆく糧となりますようお励まし頂けましたら光栄に存じます。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

プログラム

演奏	演目	出演者	所属
常磐津 長唄	京鹿子娘道成寺 (道行より鐘入りまで)	若柳秀 若柳綾秀 若柳秀弥 若柳秀鳳 若柳秀絃 若柳秀陽 若柳紫苑 寄高多寿子 田仲実香 永瀬操	会主 若柳流秀の会
清元	北洲	若柳綾秀	若柳流秀の会
常磐津	三つ面子守	若柳秀弥	“
長唄	水仙丹前	若柳秀鳳	“
長唄	鷺娘	若柳秀絃	“
長唄	惜しむ春	若柳秀楽	“
常磐津	吉野山道行	若柳秀弥 若柳秀陽	“
長唄	俄獅子	若柳紫苑	“
長唄	岸の柳	寄高多寿子	“
長唄	操り三番叟	若柳秀陽 田仲実香	“
長唄	梅の栄	高林真央	“
長唄	老松	花柳芳綱	花柳流
長唄	都鳥	早雪之南宗 石上智	早雪之流
奄美島唄と舞踊	70周年を祝う奄美の島 唄と舞踊	若柳吉有彌 河崎真紀子 徳田代津子 恵島佳子 古川輝美 平岡美代子 吉村日出子 直島敦子 大谷美智子 起晴美 村田勝代 沢村初枝 北郷和美 荃勝代 井上実香 林美賀子 熊山幸子	関西奄美民謡 芸能保存会